

科目名	建設工学				
担当教員	遠藤		実務授業の有無		
対象学科	測量建設科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48
授業概要、目的、 授業の進め方	『一般土木・専門土木編』について学びます。初めて建設技術を学ぶに当たり教科書は、難しい専門用語多く出てきますが、授業は用語の説明を十分行います。授業の目的は、将来国家資格を2年次に受験する事を最終目的として出題科目を絞り分かりやすく理解出来るように構成しました。この一般土木編は、通常の現場でも基礎知識として非常に重要な項目であります。建設現場でも技術者として理解出来るようになります。				
学習目標 (到達目標)	2級土木施工管理技士検定合格のための基礎知識の習得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	土木施工管理テキスト、配布資料				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	土木概論 (総論)		歴史～現行政～技術等のおおまかな建設業の様子を学習し概略を理解します。		
2	土工		盛土のり面、切土のり面について図解をしながら説明し斜面の勾配標準・保護する工事を理解します。		
3	土の体積変化		土量変化の算出を例題を基に解説し、その後演習問題にて個別にて計算練習を行いより深く理解します。		
4	基礎工		直接基礎・くい基礎・ケーソン基礎について図解をし説明します。また、その特徴と施工方法についても学習し理解習得します。		
5	軟弱地盤改良工事		軟弱な地盤を強化する方法と施工特徴を図解をしながら学び習得します。		
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
取組姿勢	課題	評価テスト(中間)	評価テスト(期末)	一般土木・専門土木とは、専門技術を必要とする分野です。この授業を理解する事は、技術者の仲間入りする第一歩となるでしょう。また、2年次の国家試験受験では、この項目は最重要項目で確実に点数を取る分野と言えます。頑張って資格取得を目指しましょう。	
α %	α %	50 %	50 %		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	建設会社にて施工管理実務経験 15年				